



意見・要望を交わす藤江修会長㊦



JAいわて平泉提供の宝船

## 各集落営農組織の課題解決に向けて

JA役員と意見を交換

JAは1月20日、JA集落営農組織連絡協議会とJA常勤役員との意見交換会を開きました。集落営農組織の代表者は担い手不足や農業者の減少、JAの遊休施設の利活用、台風19号の被害などに関する意見、要望を出し、それに対する回答を求めました。佐藤鉦一組合長は「課題解決をしながら地域農業の振興に取り組んでいきたい」と話しました。

## 管内の農産物の宝船が最高値

盛岡の市場で初競り

盛岡市中央卸売市場は1月5日、初市式と初競りを開き、JA管内のイチゴやリンゴ、曲がりネギなど8種類で作った「金色の風」と「いわて南牛」の肉を添えた宝船が最高値の5万円で競り落とされました。JAの阿部幸文常務は「農家が意欲を持って生産できるように販売先の確保と安定的な販売に努めていきたい」と語りました。売上金は県社会福祉協議会に全額寄付しました。

## NEWS

### 五倍酢やらっきょう酢で手軽に

JA女性部東山中央支部は1月21日、Aコープの酢を使った料理講習会を開き、大興産業(株)職員を講師にゆずちらし寿司やマリネなど5品を作りました。



### まごころを詰めて送ります

千厩うまっこ便実行委員会は12月20日、生産者やJA職員らが箱詰め作業を行ったふるさとの味368箱を全国に発送しました。



### 春作業を前に視察研修

JA室根青年部は1月21日、培土メーカーの三研ソイル(株)(八幡平市)の工場見学や商品説明など春作業に向けた研修を行いました。

### 搾乳手順と蹄について学ぶ

JA酪農部会は12月11日、より良い生乳生産に向け酪農講習会を開き、若手生産者の遠藤正憲さん(室根)の実践例などを学びました。





出荷規格を確認する生産者

## 品質の統一を図り安定的な出荷を 管内のイチゴ出荷が始まる

JAいちご生産部会は12月16日、JA花泉野菜集出荷場でいちご出荷規格目揃会を開きました。部会員など約20人が参加し「さちのか」と「やよいひめ」の収穫や選別調整、出荷規格などを確認しました。平年より日中の気温が高く今後出荷量が増えると見込み、佐藤正弘部会長は「品質と出荷規格の統一を図りながら、消費者に美味しいと喜んでもらえるものを作りたい」と話しました。



渡部俊幸園長にリンゴを贈る阿部常務⑥

## 一関藤の園へリンゴなど贈る JAの関係市場からも提供

JAは12月27日、児童養護施設一関藤の園へリンゴ30<sup>キ</sup>とりんごジュース10箱の他、JAの関係市場から提供されたミカン40<sup>キ</sup>、柿15<sup>キ</sup>も贈り、年末年始を施設で過ごす子どもたちが楽しく生活できるようにとの思いを込めました。阿部幸文常務は「さまざまな形で農や食に触れ考える機会をもってもらえると嬉しい。今後も支援を継続していきたい」と話しました。

## TOPICS

### 最優秀賞にJA室根青年部が輝く

JA青年部協議会は12月9日、第6回青年部立て看板コンクールの審査を開き、作品の主旨が伝わるデザインや仕上がりの良さなどを厳正に審査しました。



### ふるさとの味を全国へ発送

大東うぐいす便発送式を12月6日、JA大東営農経済センターで開き、リンゴやシイタケ、JAのりんごジュースなど595箱を発送しました。



### 彩り鮮やかなおもてなし料理を

JA女性部川崎中央支部は1月16日、生活シーダーの伊東澄子さんを講師に家の光掲載レシピなどを参考におもてなし料理5品を作りました。

### 肉質など全てが高評価

JAは12月3日、いわて南牛枝肉研究会を東京食肉市場で開き、出品された去勢牛25頭、雌牛11頭の中から、及川正一さん(藤沢)の去勢牛が最優秀賞に輝きました。



剪定の指導をする小岩部会長



今年の取り引きの無事を願い鏡開きする関係者

## 高品質な果実の安定生産へ向け剪定学ぶ 管理作業が能率的にできる樹形づくり

JAりんご部会は1月16、17の両日、りんご<sup>せん</sup>剪定指導会を一関市内4つの園地で開きました。一関農業改良普及センターの河田道子主査農業普及員が令和2年産りんごの花芽の状況や剪定の手順、ポイントを説明し、小岩克宏部会長が植えてから5年目までの樹を用いて年数に合わせた剪定方法を実演。樹勢を確認しながら立ち枝を利用した成り枝のつくり方などを指導しました。

## 今年の取り引きに期待 JA管内から272頭が上場

県南家畜市場で磐井地区の初競りが1月9日行われ、鏡開きで今年の取り引きのスタートを祝いました。JA管内から去勢牛171頭、雌牛101頭を上場。最高値は去勢牛の103万7000円で、平均価格は72万9454円でした。佐藤鉦一組合長は「牛肉の輸入自由化の影響が子牛価格にも出てきているが、子牛の供給産地として購買者の期待に応えていきたい」と話しました。

## NEWS

### たくさんの年賀状ありがとう

JAマスコットキャラクター「このみん」に全国からたくさんの年賀状が届きました。これからも応援よろしくお願いします。



### 一関市内の12園地が出品

一関りんご研究会は12月20日、第3回味<sup>あじわん</sup>1グランプリをJAファーマーズいわて平泉で開き、来店者が試食し投票によりサンふじの味を競いました。

### 農業用廃プラの適正処理を

一関地方農林業振興協議会園芸特産部会は12月4、7の両日、使用済みの肥料袋や育苗箱、マルチなどの農業用廃プラスチックを5会場<sup>ご</sup>で回収しました。



### 生産者と消費者の交流図る

一関市と気仙沼市は1月24日、一関市&気仙沼市食材フェア交流会を横浜中華街で開き、いわて南牛と原木シイタケなどをPRしました。



表彰を受ける最優秀賞の菅原さん㊦



意見交換会であいさつする佐藤部長㊦

## 課題を整理しさらなる前進を

生産意欲と所得向上を目指した事業展開

JAいちご生産部会は1月21日、令和2年度の通常総会を開き、生産現場の悩みや課題解決に向けた勉強会に新たに取り組んだことを報告しました。2年度も勉強会に取り組む他、電子メールやウェブを活用した迅速な情報発信で適期作業につなげていきます。出荷優良者表彰では最優秀賞に菅原修さん（花泉）が、任期満了に伴う役員改選では新部会長に滝澤幸夫さん（花泉）が選ばれました。

## 女性部とJA役員が見解交換

25の質問や意見に回答

JA女性部とJAは12月20日、女性部役員とJA役員の見解交換会を開きました。女性部から寄せられた質問や意見に回答した他「創ろう！みんなの力で元気なJA」をテーマに全体討議を行い、女性部活動の在り方など活発に意見を交わしました。佐藤幸子部長は「女性部が活動することでJAが元気になるとうれしい。楽しく活動するために要望をしっかりと伝えましょう」と呼び掛けました。

## TOPICS

### 伸ばそう健康寿命

JAハートフルは1月22日、全体研修会・JA健康寿命100歳プロジェクト交流集会を開き、各支部の事例発表などを行いました。



### 家の野菜でおもてなし

JA女性部藤沢中央支部は12月23日、生活シーダーの皆川知子さんを講師に料理教室を開き、ダイコンやハクサイなどを使って7品を作りました。



### 合併5周年記念旅行を開催

JA合併5周年記念旅行を1月26日から3日間の日程で開催し、熊野本宮大社や那智の滝など熊野古道と南紀ふれあいの旅を楽しみました。



### 地元産お肉のおいしさ知って

一関市は12月20日、地産地消フェアをJAファーマーズいわて平泉で開き、いわて南牛と奥州いわいどりをを使った料理を振る舞いながらPRしました。

